

たんぽぽだより



平常な日常のありがたさ

理事長 荻部 一夫

残暑が続いておりますが、虫の音や木々の実りに一日と秋の深まりを感じる今日この頃です。オミクロン株もようやく落ち着くのではと期待しながら、改めて平常な日常が戻ることを祈るばかりです。

さて、この平常な日常がいかにありがたいことかと考えさせられることが度々あります。

今、世界は実に混とんとしています。大きな価値観のぶつかり合いとでもいましょうか、様々な考え方が錯綜しているように思います。そのことが今後、私たちの日々の生活にも大きく関与するだけでなく、今の平常な日常が崩壊する事態になりかねない危機感すら感じています。

その一つの例をあげると、唯一の被爆国である日本の高校生は、平和を求めて原子爆弾の廃絶を訴えますが、戦火の真ただ中のウクライナの学生は、「武器を持たなければ自分も家族も守れない。平和は武器によって取り戻す。」と訴えます。

核廃絶を進めるにも、核を保有する事自体を否定する被爆者もいれば、より現実路線として大国の核の傘下で縮減していくという核保有容認の政治家もいます。

脱炭素社会への道のりも同様に、一刻も猶予はならないとする考え方（スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさん）もありますし、自然エネルギーの安定供給が難しい現状では原子力に頼らざるを得ないとする主張もまだ根強くあります。

さらに、アメリカの銃規制についても、銃を防衛のために所持するという考えと、銃犯罪を誘発する原因となっている銃をすぐにでも規制すべきだとする主張は対立しています。

そして詰まるところは、ロシアとウクライナに代表される支配圏の主張です。その根底にあるのは一地域の歴史的帰属の解釈にとどまらず、基本的な価値観の相違なのです。誰もが自由に意見を言うことに価値をおく自由主義と、一定の制限を加えてでも理想に近づくためには統制が必要だとする専制主義です。そのどちらに価値をおくのか、世界はこの二つの価値観の間に存在する溝に引き裂かれるがごとく、対立を強く意識するようになっていきます。

こうした様々な混とんとした状況を乗り越えることは一朝一夕にはいきませんが、今できることと言えば、私たち一人一人が、生き方の軸をしっかりと持ち続けることではないでしょうか。

誰もが自分の考えを言える社会（風土）を築くこと。意見や考え方の違う人の存在を抹殺（否定）しないこと。それは、自由を根底にしながらも、ヘイトスピーチや兵器に代表される「存在を否定する手段」を認めることなく、決して冒してはいけない『人権を尊重』していくことに尽きると考えます。龍鳳での毎日にその実践を努めてまいります。



10月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 スポーツの日	11	12	13	14	15 開所日
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

AED 設置しています！

たんぽぽは AED(自動体外式徐細動器)を設置しています。
 AED とは、心停止してしまった人に対して、電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療機器です。
 いざという時の救助のため地域のお役に立てればと思っております。





〈販売イベントの報告〉

8月21日～31日、西船橋駅で行われた「やさしさつながる福祉のマルシェ」に参加いたしました。

期間中は延べ3,500名以上のお客様がご来店頂き、「また買いに来ました」「頑張ってくださいね」というお声を沢山いただきました。

たんぼぼも過去最高の売上となりました。個性的な商品を何度も足を運びお買い求めくださるリピーターが出来た事、初めてご覧頂きご購入された方に「どんな方がこの絵を描いているのですか?」と関心をもって頂き、一般の方の多くに、福祉事業所やご利用者の事を知って頂く機会となった事など、うれしい事が沢山ありました。ご利用者の表現を発信し「こんな素敵な絵を書くなんてすごいわね」と、感性を評価していただき、一定の価値が生まれます。限定的ではありますが、ご利用者と社会を結ぶ一手になると実感いたしました。



新しい作家さんの作品です。

〈次回イベントの告知〉

9月16日～20日イオンモール幕張新都心で行われる「全国ナイスハートバザール 2022inちば」に出品させていただきます。新しい商品も沢山取り揃えておりますので、ぜひご来場、そしてご宣伝お願いします。




事業所の周辺の寺院から頂きましたロウを再利用してキャンドル作りを始めました。災害用としてもぜひご活用下さい。価格 500円



KURUMIRU オンラインショップ開設
たんぼぼのブローチや消せるボールペンの一部がネット通販で買えるようになりました。詳しくは、→公式サイトをご確認ください。

<https://kurumiru-online.com/> <https://kurumiru-online.com/>




業務課に、いろいろ聞いてみよう！ その1



たんぽぽでは、「就労継続課」や「生活介護課」のほかにも様々な課が活動しています。今回は、業務課の課長さん（星 将之職員）に、活動内容等をインタビュー形式でお答えいただきました。

質問 1：業務課の日頃の活動を教えてください。

回答：主な業務は、下記のとおりです。

① 車両に関わる業務

たんぽぽは、4 台の車を所有しています。車に関連する様々な業務を行っています。

- ・朝、夕の送迎の配車の調整
- ・運転手アルコールチェックの取りまとめ
- ・車検・6ヶ月点検等の実施
- ・タイヤの購入及び交換
- ・自動車保険加入（更新）手続き
- ・車両事故防止対策→ 事故発生「0」を目標に、事故防止策などを提案。

① 運転手 2 名と連携をとって、安全な運転業務を心がけています。



② 健康診断の実施（ご自身で受診が難しい方向け）

- ・事前準備（受診者の把握、練馬区への申込、受診票の配布、など）
- ・健診の実施→健診を受ける当日は、利用者の方に職員が付き添います。
たんぽぽでは通常通りのお仕事・活動が行なわれていますので、健診に付き添う職員と館内に残る職員が連携をとり、スムーズに健診が実施できるよう連絡調整を行っています。

③ 写真販売に関わる業務

- ・掲示する写真の選定
- ・見本写真の館内掲示及び申込から写真配布



③ 利用者皆さんの日頃の様子を見ていただけるよう、記録として写真を集めています。

④ 防災に関わる業務

- ・防災訓練の準備及び実施→ 災害発生シナリオの作成、訓練のシュミレーション、訓練後に「たんぽぽだより」にて実施報告、などを行います。
- ・防災時の備品の調達→ 担架、保存食・飲料水の確保、アルミブランケット、蓄電器の購入など、少しずつですが災害時の準備をすすめています。

② 健康診断



④ 避難訓練を実施しながら、災害時準備もすすめています。



※ 「業務課に、いろいろ聞いてみよう その2」は、たんぽぽだより 10月号以降に掲載予定です。